



消防本部 PR 動画

特集 命をつなぐ仕事

☎ 消防本部 消防総務課 ☎ 74-1479

市民の安全・安心な生活を守るため、市消防本部は 24 時間 365 日、火災予防や消火活動、救急・救助活動などを行っています。コロナ禍でも対策を強化して、救急活動をしています。

また、近年では、過去に経験したことがないような台風やゲリラ豪雨が多発しています。それらの災害に対応する装備を備えた県内唯一の災害重機機動隊や、水難救助隊なども紹介します。

救急体制

現在、救急隊を 5 隊（4 署 1 出張所）編成しています。全救急隊に救急救命士を計 39 人配置しています。救急出場時には必ず 1 人以上の救急救命士が同乗し救急活動を行っています。また、救急隊がすべて出場している場合は他市との協力体制で対応しています。

▶救急救命士とは

救急救命士は重傷傷病者に対し、医師の具体的な指示を受け、気管挿管・静脈路確保・薬剤投与などの救命処置を行うことができる国家資格を有しています。複雑多様化している救急現場での確かな活動を行うために、常日頃から訓練や研修を重ねています。



女性救急救命士として

救急車を呼ばれた方は、動揺してしまうと思いますので、傷病者本人だけでなく、家族も安心できるような声かけを心がけています。

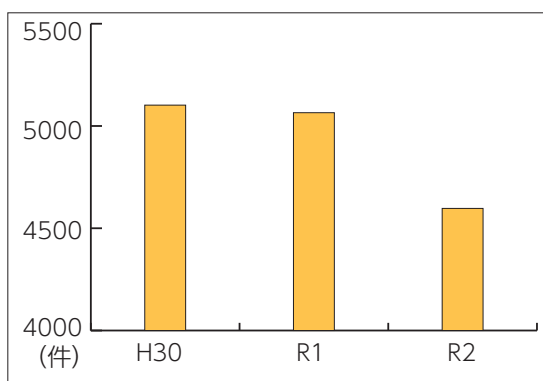
女性隊員が居ることで、話しやすいこと、共感できること、安心感を与えられたらと思います。

搬送中の不安事など、ささいなことでも我慢せず話してください。

救急救命士 市村美樹

コロナ禍の救急活動

◆救急出場件数推移（平成 30 年～令和 2 年）



平成 30 年：5,102 件
令和 元年：5,065 件
令和 2 年：4,597 件

⇒令和元年から 2 年にかけて、約 500 件減少しています。今年も減少傾向にあります。



救急隊隊長 赤羽正隆

コロナ禍でも、安心してください

令和元年までに比べ、2 年の出場件数が減少したのは、コロナ禍の影響による感染の不安からではないかと感じています。消防ではこのような不安から利用を控えることが無いように、感染を防ぐ対策をしっかりと行い、利用者の症状についても指令センターで、感染の疑いが無いか確認しています。

感染対策をしているので、必要なときは、安心して利用してください。

◆感染症対策を行っています



通常の救急出場時は、ゴーグル、マスク、感染防止衣（上下）、使い捨て手袋を装着し救急対応しています。

新型コロナウイルス感染症が疑われる救急出場時には、マスクをより高密度なマスクへ変更し、さらに頭部は髪へのウイルス付着を防ぐ目的でメディカルキャップを装着して対応しています。

救急車内にあっては、養生シートで車内を覆うことにより、新型コロナウイルス感染者からの飛沫などによる感染のリスクを減らすように配慮しています。また、搬送後には症状に応じて、救急車内や資機材の消毒も行っています。